



## 令和7年度「船上山スクール体験入学」実施報告書

### I 事業の概要

1. 期日 令和8年2月21日(土)

2. ねらい

小学校の学習体験を通して、4月からの小学校生活への期待と意欲を高める。

3. 対象 年長児とその保護者 24組

4. 応募者数・当日参加者数

応募者数 32組67名

当日参加者数 21組42名 (年長園児21名 保護者21名)

5. 参加費 900円

6. 日程

午前		午後	
9:00	受付	13:30	3時間目「ずこう」 ～レザーのしおり～
9:30	あさのかい(出会いのつどい)		
9:50	1時間目「こくご・さんすう」 ～ことばや かずで あそぼう～	14:30	感想記入
		14:45	かえりのかい(別れのつどい)
10:50	2時間目「たいいく」～うんどうあそび～	15:00	さようなら
12:00	給食		



### II 実施状況

■〈2月21日(土) 天候 晴れ〉

開催当日、参加者の年長児は、保護者と一緒にやや緊張した面持ちで船上山少年自然の家にやってきた。実際に小学校で使用するような机と椅子に着席し、しおりに自分の名前を書いたり、思い思いの遊びをしたりしながら開会を待っていた。

9時30分に「あさのかい」(出会いのつどい)が始まった。年長児たちは、所長(校長先生)のあいさつや指導員(先生)の自己紹介をよく聴いていた。最初はとても緊張した様子の年長児たちだったが、徐々に反応の声も大きくなり、笑顔も見えるようになってきた。参加者紹介では、指導員に名前を呼ばれた年長児たちは、手を挙げて元気よく「はい!」と返事をすることができた。

「あさのかい」を終えると、いよいよ年長児たちが楽しみに待っていた1時間目「こくご・さんすう」の学習が始まった。前半の「こくご」の時間では、声に出しての音読や、言葉への関心を高める学習活動を実施した。最初は「あいうえおのうた」を声に出して読む活動を行っ



た。範読、追い読み、一斉読みなど様々な読み方でリズムよく声を出すことができた。次に、「あ」から始まる言葉を見つける活動を行った。年長児たちは楽しんで活動に取り組んでいた。

後半の「さんすう」の時間では、数や量への関心を高める学習活動を実施した。

まずは、2人組で指を出し合って5を作るゲーム「じゃんけん5」を行った。次に、さいころの出た目の数だけマーカーを置いて並べる「さいころゲーム」を行った。年長児たちは、友だちと一緒に数や量に親しむ活動を楽しむことができた。学習が終わる頃には、どの子もすっかり緊張がほぐれた様子であった。

次に、2時間目「たいいく」の学習である。この時間は様々な運動遊びを行った。バナナおにや進化じゃんけんなど友だちと関わりながら体を動かしたり、パイプリレーやサーキットでは親子で協力しながら運動を行ったりした。特にサーキットでは自分から進んでどんどんチャレンジしようとする姿が見られた。

きゅうしょく(昼食)では、実際の小学校の給食と同様に、マスクを着用して班ごとに配膳を行った。年長児たちは、友だちや保護者と協力して食べ物や食器を運び、食事の準備に取り組んでいた。船上山少年自然の家での食事は初めてという子が大半であったが、普段通っている保育所・幼稚園等でも給食の準備や片付けを毎日行っていることもあり、さほど戸惑うこともなく自信をもって取組んでいるようであった。食事中には、各班とも子ども同士や保護者同士で会話を楽しむ様子が見られた。

休憩時間をはさみ、3時間目は「ずこう」の学習を行った。今回の題材は、「レザーのしおり」である。小学校に入学後、たくさん本を借りて読むときに使ってほしいと指導員から説明があり、作品作りが始まった。革を切って各自好きな飾りつけを行った。革を切るときや細かい飾りつけをする時など、親子で協力して作成する姿が見られた。時間内に全員の作品が出来上がり、年長児たちも保護者も満足そうな様子であった。

活動終了後には、今回の「船上山スクール体験入学」での楽しかったことやうれしかったことを振り返り、感想を記入する時間を設けた。年長児は文字を書くことにまだ慣れていないため、保護者に補助していただいたが、ほとんどの子が自分で感想を書こうとしており、意欲の高さを感じられた。発表する時間を設けたときも、想定していたより積極的に手を挙げて思いを伝えようとする年長児が多く、楽しかった思いや、小学校に向けての意欲が十分に伝わってきた。初めて出会う仲間や大人も多くいる中で、自分の気持ちを積極的に伝えようとすることは素晴らしいことだと感じた。

かえりのかい(別れのつどい)では、校長先生(所長)から記念品の鉛筆が全員に手渡された。名前を呼ばれた年長児は、力強く返事をし、充実した表情で記念品を受け取った。今回の主催事業を通して、年長児も保護者も小学校入学に向けて心の準備を整えるとともに、新たな友だちや仲間をつくるきっかけを得ることができたのではないだろうか。



### Ⅲ 総括

#### 1. アンケート結果

##### 《参加者の満足度》

(参加者数:21組42名 アンケート回収率:100%)

事業全体の満足度 満足:21組

##### 《参加者の感想(抜粋)》

###### 【年長児】

- ・ともだちとあそべたのがたのしかった。
- ・しおりづくりがたのしかった。
- ・ともだちができてうれしかった。

###### 【保護者】

- ・保育園は園児が少ないので、小学校で急にお友だちが増えることに対応できるか心配でしたが、同じ班の子どもも仲良くなれて楽しそうに過ごしていたので安心しました。勉強も楽しいものだと感じていたようです。
- ・年長児しかいないので、保護者同士も話がしやすく、初対面同士でもコミュニケーションが取れて良かった。小学校入学前に、学校での子どもの姿がイメージ出来て良かった。
- ・入学前に、机やイスに座って話をきける体験が出来てよかったです。今日の姿をみて、親子で小学校に入ったらどうすればいいかな、という話もできるのでとてもよかったです。

#### 2. 成果

- ・年長児や保護者にとって、満足度の高い内容であった。
- ・「小学校入学」というテーマに沿って、充実した活動を提供することができた。
- ・「たいいく」の学習は、雪遊びではなく運動遊びに変更したことで運動量が増え、満足していただけた。

#### 3. 課題

- ・さらにねらいに迫るために、各活動の内容や指導員の関わり方について見直しを図りたい。
- ・参加者数が増えたことで活動場所のスペースが限られてくるので、安全確保のためにも活動スペースに見合った活動を組む必要がある。